



建築技術性能証明書

技術名称：MONO継手工法
ー壁式プレキャスト接合部の無溶接継手工法ー

申込者：村本建設株式会社 代表取締役 村本 吉弘
奈良県北葛城郡広陵町大字平尾1番地の1

技術概要：本技術は、壁式プレキャスト(PCa)鉄筋コンクリート造の5階建以下の建築物におけるPCa壁の鉛直接合部を対象としたものであり、接合筋をフレア溶接する従来の継手方式に替えて、フープ状の鉄筋を用いた無溶接継手工法である。本工法では設計耐力の算定において、従来工法や接合部形状(T形、L形)に対して独自の補正係数を採用している。

開発趣旨：壁式プレキャスト造における接合部は一般的にフレア溶接を用いた継手により施工されている。このフレア溶接は、天候などの施工条件に制限を受けるとともに、その品質は溶接技術者の技量に左右される。本技術は、継手を無溶接化することで、施工における品質の確保および省力化を意図して開発された。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2017年9月27日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 井上 一朗



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料1：MONO継手工法 性能証明のための説明資料

資料2：MONO継手工法 設計施工指針

資料1には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した実験資料がまとめられている。

資料2は、本技術の設計施工指針であり、適用範囲、使用材料、設計方法、施工手順などが示されている。

また、付録として、設計例が示されている。

証明内容：申込者が提案する「MONO継手工法 設計施工指針」に従って設計・施工された壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物のPCa壁の鉛直接合部は、長期許容せん断耐力時に使用上支障をきたすせん断ひび割れを起こさず、短期許容せん断耐力時に修復性を損なうせん断ひび割れを起こさず、ならびに同指針で定める終局耐力以上の耐力を有する。